

秋年闘争をストライキで闘う

光臨通信

千葉運転区支部第五回定期大会が十月二十七日開催された。この一年間、「ヤミ・カラ・タルミ」キャンペーンをもって開始された国鉄労働者への攻撃は、臨調答申「緊急十一項目」の実施として我々の職場を直撃している。我々が今この攻撃に沈黙し、これを許したならば、必ずや徹底した労働強化と職場のマル生支配、労働組合破壊へと突き進むことは明白である。大会は、七五名の組合員が結集し、職場からの反撃に起つ第一歩として圧倒的にかちとられた。

「反合・三里塚を闘う労働運動」路線のもと反撃にたとう

白井執行委員の司会で始まり、冒頭、動労千葉と兄弟組合として交流を深める全金本山労組・青柳氏より、連帯の挨拶と物資販売の要請を受けた後、永田支部長が、「八一・三闘争の地平をどう守っていくかが問われた一年だった。日帝が戦争にむけて労働運動解体攻撃を強めている現在、動労千葉第七回大会で決定した『三里塚・反合を基軸とした労働運動』路線の正義性に自信と確信をもって、反撃の闘いに立ちあがろう」と挨拶した。つづいて、山口本部副委員長、白井千葉地区労務局長の挨拶、さらに、来年四月の船橋市議選に組織内候補としてたつ中江顧問より、「政府・自民党は戦争に突き進み、闘う労働組合つぶしの攻撃を強めている。情勢は厳しいが、労働組合は困難な時こそ後退してはならない。原則にのっとり闘うことが重要である。私は来年の船橋市議選に立候補するが、これは動労千葉の命運をかけた闘いとして、絶対に勝利をかちとらなければならない」との決意が述べられた。

闘う方針案を満場一致で確認

方針案は内山書記長が、「軍事大国化・改憲の前に立ちはだかる『国鉄』『三里塚』の解体攻撃の激化により、いよいよ『国鉄』『三里塚』をめぐる決戦に突入した。敵が全体重をかけて攻撃にうってでてきている以上、我々は全力ではね返していかなばならない。当面する五七・一ダイヤ改悪阻止、現協協約改悪粉碎、仲裁々定完全実施要求を中心とする秋年闘争を全労働者の最先頭にたち、ストライキで闘おう」と提起した。

質疑討論に入ると、多くの組合員から、今日我々に襲いかかっている「緊急十一項目」に対する怒りの発言が集中して出され、真剣な討論が行われた。

大会は、一九八二年度方針案を全員の拍手で確

10月27日 第5回 千葉転支部 定期大会 ひらかる

勝利闘争ジェット三里塚 / 粉碎粉革行 / 臨調



認め、再び職場にマル生をもちこみ、労働組合を解体させ、職場の力関係を逆転させようとする攻撃に対し、さらに団結を強め、反撃の闘いに決起することを全組合員が確認した。最後に新旧役員の挨拶を受けた後、組合歌合唱、団結ガンバロー三唱をもって、成功裡に終了した。

一九八二年度役員を紹介します

支部長	永田雅章	三八才	電車運転士
副支部長	白井敏行	三九才	
書記長	内山 等	三六才	
執行委員	関 弘明	四四才	
	加藤正人	三七才	
	三平 勲	四一才	
	江口治男	三八才	
	相原照二	三九才	
	林 利明	三三才	
	石井 映	三九才	
	梅沢利男	三九才	
	丸山 博	四二才	
会計監査員	蕨岡秀夫	三六才	

57.11ダイ改阻止! 検修・貨物合理化粉碎!
 36破壊-非協力闘争実施中 (10月26日迄)
 動労千葉印 争指令才2号

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!